

宝物はすぐそばに

校内研通信

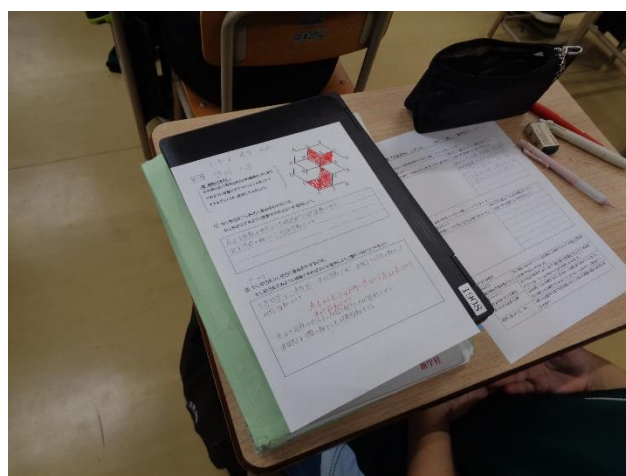
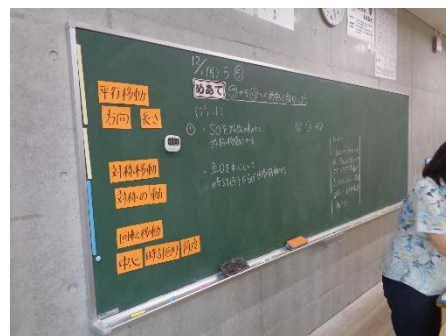
第30号

R7.12.1

発行者:校内研担当 仲村智

3つの移動が手に入れば世界中どこへでも移動できる

12月1日(月)5校時、1年9組にて吉田涼乃先生が数学の授業を公開しました。本時のねらいは、3つの移動を使って図形の移動について説明することです。導入して既習事項の移動を確認する際、大事なキーワードをカードにして黒板に最後まで残し、本時の移動を説明していく活動のなかで、きちんと書けているかの手立てとして活用できるようにしたことが工夫したところです。特に数学の図形分野においては、移動する図形を想像するよりも、デジタル教科書を使って実際に何度も色々な操作を繰り返すことで移動のイメージが定着しやすいという、ICTの良さを最大限生かす題材ということもあり、生徒は自らいろんな解法にトライしていました。生徒の「もっと知りたい」を上手に引き出す仕掛けを施し、最後には次時への新たな問いも上手に投げかける授業づくり、さすが涼乃先生、時間割作成で先の先まで見る目を鍛えているわけですね😊



RS
みつけた!

本日の

キーワード

自立した学習者

目的や状況に応じて、自分に合った学び方を工夫したり、学習意欲を自ら引き出したりして学習できるような児童生徒

学習者が生涯にわたって自ら学び続けるための力を育成するという視点で考えると、「自立した学習者の育成」は、RSの中心的な目標の一つです。

授業改善4つの取組

各学校の「目指す児童生徒像」やこれまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、以下の4つの取組から選択し、実践を推進しよう。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「学習基盤としてのICT」の活用

「指導と評価の一体化」の実現

「自学自習力」を育む取組の充実

育成を支える4つのポイント

自己存在感の感受
自己決定の場の提供

共感的な人間関係の育成
安全・安心な風土の醸成

「学習基盤としてのICT」の活用

- 学習指導要領総則において、学習の基盤となる資質・能力の一つとして「情報活用能力」が位置づけられており、「令和の日本型学校教育」の実現に向けても重要な資質能力と捉えられています。（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して）
- 「自立した学習者」の育成に向け、現代の多様性のある子供たちの学びを、資質能力を重視した子供主体の学びへ転換するため、ICT（1人1台端末等）を学習基盤として最大限活用することが大切です。
- GIGAスクール構想の「1人1台端末とクラウドの活用」を、学習に欠かせないもの（学習基盤）と捉え、「探究のサイクル」（「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」）の学習過程を取り入れた授業など、様々な教育活動において、端末の日常的・効果的活用を推進しましょう。
- 学びを支援する伴走者である教師においても、学びの相似形の視点で校内研修や校務において、授業と同様に1人1台端末やクラウドを活用していくことが必要不可欠です。【校務の授業の研修】